

中高生が主体となったイベントの実施

取組の背景・目的

●新型コロナウイルス感染症の影響で学校や地域等において様々なイベントが中止や延期となった。ジャンプ東池袋では厳しい状況が続く中、体育館での音楽ライブや屋上でのバスケット大会など対策を取りながら可能な限りイベントを行ってきたが、毎年、実施していたビックイベント「サマーフェスティバル」は2年間開催できていなかった。令和4年度はその「サマーフェスティバル」の再開を目指し、中高生がスタッフとして企画・準備を行い、当日は中高生だけでなく地域の方々にも来館してもらい、楽しんでいただくイベントを実施した。

取組の概要

- イベント名：サマーフェスティバル 2022
- 実施日程 2022年8月27日
- 実施場所 ジャンプ東池袋 館内
- 運営体制 中高生による実行委員会形式
- 実施までの経緯

例年、飲食をともなった模擬店を出店し多くの来場があったが、コロナ禍では飲食店の出店は難しいため、ゲームコーナーを実施。ゲームコーナーの内容から中高生スタッフが企画・準備、当日の運営も行った。また、当日は音楽スタジオを利用している高校生のバンドメンバーが中心となり、音楽ライブも実施。準備や当日のPA(音響)及びMC(司会)も音楽ボランティアのサポートを受けながら、高校生が実施することとなった。

- 中高生スタッフの活動
 - ・ イベントポスターの作成
 - ・ ゲームコーナー企画及び準備
 - ・ 装飾の企画及び作成
 - ・ ライブステージの企画及び準備
- 当日実施した内容
 - ・ ゲームコーナー
 - ・ 講師によるワークショップ
(中高生スタッフもサポートを行う。)
 - ・ 音楽ライブ
 - ・ 中高生の作品展示



工夫点・留意点

●日常、利用している中高生に希望を聞きながらスタッフを募集し、中高生の「やりたい」を職員とともに形にしていった。中高生からはアイデアが無数に出てくる。各ゲームコーナーや館内装飾など忙しい中高生が来館すればいつでも話し合い、準備をすることができるよう、職員体制や内容の方向性を整え取り組んだ。中高生スタッフはほぼ毎日、準備のために来館していた。



取組の効果

●中高生スタッフの人たちは、ほぼ毎日来館して話し合いや準備を進め、スタッフとして来館することを楽しんでいました。作品や装飾品作りなどを通して、好きなこと、得意なことなど各々の実力を発揮。また話し合いの中で自分の考えを伝え、お互いを認め合いながら作業を進めていた。職員と共に準備を進めることによって職員と中高生との関係性も強化され、相談しやすい関係となっていき、イベント終了後も毎日のように来館する中高生も出てきている。

●音楽ライブでは高校生スタッフが企画・準備し、当日のPA(音響)やMC(司会)も高校生が行い、多くのバンドが出演した。異なる学校や異なるバンド同士の交流も生まれ、当日その場でセッションが繰り広げられるなど、とても充実した音楽ライブとなった。

●当日は多くの地域の方々に来館していただき、中高生と直接関わり、中高生の作品に触れ、バンド演奏を聴くなど、中高生の活動を知っていただく機会となり、地域の方々からも感心する声が聞かれた。

課題・今後の展開

●施設大規模改修工事により、仮施設にて運営しているため、同様のイベントは時期を検討する必要がある。また今回のように多くの中高生実行委員スタッフを集めることは困難であることが予測され課題となっている。早い段階から周知し、引き続き多くの中高生が参加してくれるよう取り組んでいく。

●今後も新型コロナウイルス感染症などへの対策が必要と考えられる。対策を講じながらも実行委員スタッフ及び地域の方々など参加者や来館者がより楽しめるような内容を検討していく。

●地域の方々にイベントのコーナーを担当していただくなど、中高生と地域とを繋げられるような方法を探り、中高生が地域で活躍できる場が増えることを目指す。